



左：深堀隆介《桜升 命名 淡紅》2017年 平塚市美術館蔵 右：高橋由一《読本と草紙》1874-75年 金刀比羅宮蔵

新潟市職員互助会助成付き 前売り券幹旋のご案内

会期：11月29日(火) ～ 2023年1月29日(日)

会場：新潟市美術館 新潟市中央区西大畑町 5191 - 9

新潟市職員生活協同組合

市役所内線：35355

TEL：025-226-5353

FAX：025-223-5455

sseikyou@niigata-net.or.jp

展示室に
イグアナ現る!?



本郷真也
《盈虚 一鐵自在イグアナー》
2019-22年 個人蔵

近代日本の〈写実〉表現は、西洋的なリアリズムの影響を受けながらも、この国独特のアニミズムと結びついて発展してきたかに見えます。江戸期の生人形、高橋由一や高村光雲らによる明治の絵画・彫刻、義手や義足、現代美術家たちの表現まで。ものの命までも写し取ろうとする気迫に満ちた、多彩な表現をお楽しみください。

一般当日 1,000 円 (前売券 800 円)

- 幹 旋 期 間： 10月29日(土) ～ 11月28日(月)
- チケットのお届け： 申込み受付後、随時職場までお送りします。
- 支 払 い 方 法： 給料天引

新潟市職員互助会助成付前売券価格

650 円

★先着 200 枚限定★

⑨新潟市職員生活協同組合員でない方はご利用できません。

職員生活協同組合員でも、新潟市職員互助会会員でない方は助成対象外（一般価格）となります。

⑩助成付価格でご利用いただけるのは新潟市職員互助会の会員ご本人とご家族に限ります。

⑪申込みが限定数に達した場合、締切日前に受付を終了することがあります。

「リアル（写実）の ゆくえ」展 前売券 申込記入欄

新潟市職員生活協同組合同行

* 切り取らずそのままお送り下さい。

職場名

TEL

職員コード	氏 名	イベント名/前売券価格	枚数	合計金額
		リアル（写実）の ゆくえ 展 前売券 職員互助会助成付価格：650 円	枚	
		リアル（写実）の ゆくえ 展 前売券 職員互助会助成付価格：650 円	枚	

※注文時にいただいた所属・氏名などの情報は、代金の請求や配送業務にのみ使用させていただきます。

リ 写 実 の

◆会期：2022年

11月29日 火
2023年
1月29日 日

◆開館時間：午前9時30分～午後5時
（ただし、観覧券の販売は午後4時30分まで）

●観覧料：一般1,000円・800円
大学・高校生800円・600円・中学生以下無料
●会場内は販売料金：一般のみ、20名以上の団体料金、リセーター割引料金、本展観覧券の半額優待、本展と同日は団体料金に割引あり、割引料金2022年度以降の新潟美術館企画展観覧券提示で団体料金に割引
●会期中は本展の観覧券でコレクション展も観覧可
●急降がいの予報で観覧手段を妨げる場合は無料受付可
●事前定額販売所：セブンイレブン、イオン、コンビニエンスストア、ファミリーマート、シネマランド、新潟市美術館、新潟市新津美術館、10月下旬発売予定



●アクセス：新潟駅友代口バスターミナルから
「C6八千代橋線」美術館前寄バス停（徒歩約2分）
乗車約10分：西蒲原大森町バス停下車
徒歩約5分：田代橋ターミナル下車
バス停から美術館まで約10分（徒歩約10分）
乗車約10分：古町バス停下車（徒歩約12分）
「ラッシュ」新潟駅友代口から約10分
【自動車】無料駐車場最大約40台（日本海東北自動車道新潟亀田ICを降り、御都大橋経由で約20分）
国道10号線新潟市中央二番目交差点を降り、御都大橋経由で約15分

現代の作家たち 生きること、写すこと

●休館日：月曜、12月27日（火）、2023年1月31日（火）
2023年1月10日（月）休館、10日（火）は開館
●新潟市美術館：〒951-8555 新潟市中央区西大崎町5-1-10
中央館駐車場は設けられていますが、公共施設敷地内を占有するため、
●新潟市西蒲原地下駐車場の駐車場券のご提示で60分無料をご利用いただけます
電話：025-223-1422、ファクス：025-223-8345
Eメール：museum@city.niigata.lg.jp
ウェブサイト：www.niigata.jp
フェイスブック：www.facebook.com/nmniigata
●主会場：新潟市美術館
●制作協力：NHK、テレビ新潟、中部

●出品作家：
「松本喜一郎」安本旭八、室江吉兵衛
「室江吉兵衛」高村文太郎、関義平
「関義平」平岡田中、佐藤洋一
「佐藤洋一」若宮隆志、小笠元彦
「小笠元彦」岡田晴雄、中谷ミチ子
「中谷ミチ子」上原清子、七柳雄次
「七柳雄次」本山健、澤田誠介
「澤田誠介」安藤正子、秋山泉
「秋山泉」橋本幸美

え

新潟市美術館

写実のリアルゆりあえ

現代の作家たち
生きること、写すこと



↑横山奈美《迷れられない運命を受け入れること》
2016年、gigai 10歳

三郎の生人形の見世物を見えています。後年、彼は西洋由来ではない写実を気付かせた存在として、松本喜三郎をはじめとする生人形師を敬慕しています。●ここで重要なのは、写実表現はそもそもこの国にあったということです。江戸期の自在置物や鍍金は高い技術により、対象を精巧に再現しています。写実は洋の東西を問わず追求されてきたと見るべきでしょう。ただし、西洋の文化受容により新たに「美術」という言葉が生まれると生人形や置物は、その定義から外され、長く美術史の表舞台からは姿を消すこととなります。しかし、対象を生きているように、あ

く大きく作用していると思われる。このような洋由来の写実技法が加わったとみることができ、もしくは書き替える作業であったしています。現代の作家も対象に没入しています。そこには先祖返りの要素も見受ける証です。連綿と続く写実の流れが、いわば間



↑深堀隆介
《桜升 命名 派紅》
2017年、
平塚市美術館蔵

いるのです。また、彼らの作品の中には近代的なもので、新たな写実を模索している姿勢も見出せます。●本展は、松本喜三郎らの生人形、高橋由一の油彩画、明治期の金工作品で廻ることができます。●本展は、松本喜三郎らの生人形、高橋由一の油彩画、明治期の金工作品を導入部として、現代の絵画と彫刻における写実表現を検証するものです。西洋の文脈のみではとらえきれない日本の「写実」が如何なるものなのか、またどのように生まれたのか、その手がかりを探ります。●出品作家・【彫刻】松本喜三郎、安本亀八、室江吉兵衛、室江宗智、高村光雲、関義平、須賀松園（初代）、平柳田中、佐藤洋二、前原冬樹、若宮隆志、小谷元彦、橋本雅也、満田晴穂、中谷ミチコ、本郷真也、上原浩子、七瀬綾乃【絵画】高橋由一、本田健、深堀隆介、水野暁、安藤正子、秋山泉、牧田愛、横山奈美

のど土着的なものが拮抗

のよう傾向は、高橋由一ま

けられます。これは旧来の伝統的な写実が息づいて

ることにより生々しさを帯びた作品を生み出して

できます。これは既存の写実の方法や感性を上書

たことと思われま。●今また写実ブームが到来

るにより生々しさを帯びた作品を生み出して

できます。これは既存の写実の方法や感性を上書

たことと思われま。●今また写実ブームが到来

るにより生々しさを帯びた作品を生み出して

できます。これは既存の写実の方法や感性を上書

たことと思われま。●今また写実ブームが到来

るにより生々しさを帯びた作品を生み出して

できます。これは既存の写実の方法や感性を上書

たことと思われま。●今また写実ブームが到来

るにより生々しさを帯びた作品を生み出して

できます。これは既存の写実の方法や感性を上書

たことと思われま。●今また写実ブームが到来

るにより生々しさを帯びた作品を生み出して

できます。これは既存の写実の方法や感性を上書



↑高橋由一《読本と草紙》1874年頃、金刀比羅宮蔵

●開催中の催し：①アーティストトーク「生人形と近代の彫刻——リアルさとは何か 日本彫刻の特異点」12.10[土]14:00～16:00 講師：小谷元彦氏（本展出品作家、美術家・彫刻家）／②美術講座1「リアル」の来し方——江戸の写実表現」12.24[土]14:00～15:30 講師：菅沼楓（当館学芸員）／③美術講座2「彫刻ゲン論——現実・幻影・原理——」2023.1.21[土]14:00～15:30 講師：藤井素彦（当館学芸員）／④①～③とも 申込不要、聴講無料、定員80名（先着順）、会場：新潟市美術館2階講堂 ※感染症対策として、ご来場の際に氏名・連絡先の提供をお願いいたします／④担当学芸員によるギャラリートーク 12.18[日]、2023.1.9[月・祝] 同日とも14:00～（30分程度）要当日観覧券 ●同時開催：コレクション展Ⅲ「新収蔵品から／彫刻の回廊マイヨール、ブルデル、高村光太郎ほか」10.28[金]→2023.1.29[日] ●コレクション展ギャラリートーク：11.12[土]、12.17[土]、2023.1.14[土] 各日とも14:00～（30分程度）※直接常設展示室にお越しください。要当日観覧券 ●Lounge N きまプログラム：「みんなでつくる☆クリスマス」ほか実施予定！ ●新潟市新津美術館の展覧会：Tel.0250-25-1300 「一画業50年のあゆみ——黒井健 絵本原画展」10.29[土]→12.25[日]／「第18回新潟教育アート展」2023.1.4[水]→1.8[日]／「美術と考古でみる、ここらへんの生活。」2023.1.14[土]→3.12[日]

●交通案内：【バス（新潟駅万代口バスターミナルから）】「C6八千代橋線」乗車約16分→「西堀通八番町」バス停下車→徒歩5分（便数は多くありませんが美術館最寄りのバス停からのアクセスとなります）。【B1萬代橋ライン（BRT）など】乗車約10分→「古町」バス停下車→徒歩12分（バス停から美術館まで約860m 最も便数が多いバス停からのアクセスとなります）。【タクシー】新潟駅万代口から約10分／【自動車（無料駐車場46台）】A：【高速道路】日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分。B：【国道8号線（新潟バイパス）】紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分 ※当館駐車場は混雑するおそれがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。【新潟市西堀地下駐車場】の駐車券のご提示で60分無料券をお渡ししています。

〒951-8556 新潟県新潟市中央区西大堀町5191-9
Tel. 025-223-1622 Fax. 025-228-3051
Email museum@city.niigata.lg.jp

●WebやSNSでも情報発信中！ 要チェック！
公式Webサイト www.ncam.jp
Facebook www.facebook.com/ncam.tsunagaru/



新潟市美術館
Niigata City Art Museum